

令和8年6月20日

静岡歴研

第173号

会報

静岡県歴史研究会

発行人 須山忠治

令和8年2月10日(火)

第147回研究発表会

望月氏発表

2月8日の衆院選で自民党が大勝し、議席数の3分の2以上を占めた。それまで野党第一党であった立憲民主党と連立を離脱した公明党が結党した中道改革連合の大敗ともいえる衆院選であった。

そんな余韻も残る2月10日に第147回研究発表が静岡市歴史博物館内の講座室で開催された。午前中は故篠原会長の蔵書を希望会員に受け渡しがあり、午後より研究発表会となった。

望月茂氏発表

安倍川流域に多い白髭さんの謎

〜神社と祭神サルタヒコのルーツを探る〜

望月氏はパワーポイントと配布資料により発表した。以前、編集者(鈴木康久)は神社の祭神で多いのは八幡神やスサノウ尊(牛頭天王)と思って静岡市を

研究の視点

調べてみたことがあった。ところが、静岡市で一番多かったのは白髭神社であった。疑問に思いつつも深堀はしなかった。本日、その秘密が解かれる。今回の会報は、望月氏著作の『安倍川流域の地域史』(2024年6月) 全国歴史研究会発行を一部引用させて頂いた。

静岡市の安倍川・興津川流域をたどると多くの「白髭神社」が鎮座する。市内の神社で最も多く、全国的に



安倍川(中河内川)の白髭神社
(静岡市玉川・上落合)